



平成29年12月8日

「養生所等遺跡の完全保存についての要望書」の
提出について

養生所等遺跡の完全保存について、日本全国の医療人が切に希望していることを表明するため、このたび、日本医師会長、長崎県医師会長及び長崎大学医学部長の三者連名により、長崎市長及び長崎市議会議長宛に「養生所等遺跡の完全保存についての要望書」を提出すべく準備を進めていますので、お知らせします。

- 別添1頁～2頁（提出予定の要望書）
- 別添3頁（県医師会長、医学部長名連名での日本医師会長宛の依頼文書）
- 別添4頁（永安武医学部長のコメント）

【本件に関するお問い合わせ先】

長崎大学医歯薬学総合研究科事務部
事務部長 千北（ちぎた）
電話 [REDACTED]

長崎県医師会事務局
事務局長 田畑
電話 [REDACTED]

日本医師会 国際課
課長 能登
電話 [REDACTED]

平成29年12月 日

長 崎 市 長 田 上 富 久 殿

長崎市議会議長 野口達也 殿

養生所等遺跡の完全保存について 要 望 書

(要望事項)

- 1) 近代西洋医学発祥の地である養生所・医学所・分析究理所・長崎医学校等遺跡（養生所等遺跡）の完全保存。
- 2) 養生所等遺跡の完全保存に影響のある工事の見直し。
- 3) 養生所等遺跡の価値評価に適切な日本国内やオランダの各分野の専門家からなる調査委員会の指導による十分な調査。
- 4) 養生所等遺跡の調査終了後、医療関係者の意見も聴取し、同遺跡の保存と適切な活用。

J. L. C. ポンペ・ファン・メールデルフォールトは、松本良順の助力を受けつつ、養生所・医学所を建設し、日本の近代西洋医学教育を創始しました。

A. F. ボードインは、分析究理所を建設し、最新の臓器別医学とオランダの医療法を教授しました。分析究理所で自然科学を学んだ後、養生所・医学所で医学と医療を学ぶ、より完成された医学校となり、精得館、次いで長崎医学校と改名しました。明治新政府に登用された相良知安（精得館頭取）と長与専斎（長崎医学校長）は、東アジアの国々に先駆けて近代的教育と公衆衛生行政を創始しました。

養生所等遺跡は、オランダの近代西洋医学発祥と日本近代化への貢献の証であり、日蘭友好の象徴であります。幕末長崎で行われた海軍伝習から明治維新にいたる激動の開国時代を代表する遺跡であり、鎖国時代の出島に匹敵する歴史的な価値があります。

養生所・医学所遺跡は近代的な医学・医療の、分析究理所遺跡は近代的な薬学・化学・物理学の発祥の地であります。多くの市民の遺跡を全て残すようにとの声は分析究理所遺跡発見後に急速に高まりました。2017年11月17日に長崎市に

提出された小島養生所等遺跡の完全保存について、住民の意思を確認する住民投票条例請求では、短期間にもかかわらず15,776筆の署名が集まり、多くの医療人が署名しました。養生所等遺跡を全て残すことは長崎市の医療人とともに日本の医療人の切なる願いであります。

国民の健康寿命を世界トップレベルまで押し上げてきたわが国の医療システムの原点は、まさに養生所等遺跡にあります。医療は世界全体に共通する社会的資本であり、日本は医療の分野でリーダーシップをとって世界に貢献して行かねばなりません。養生所等遺跡は日蘭友好の象徴であると同時に、世界で活躍する日本の医療の原点として世界的な文化遺産であります。

日本だけでなく世界の医療人が、日本の近代化のルーツを知りたい国内外の人々が長崎を訪れるとき、必ずや小島佐古の丘に足を運ぶことでしょう。

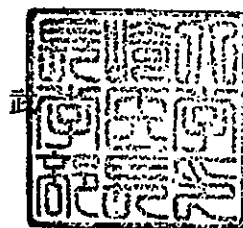
養生所・医学所・分析究理所・長崎医学校等遺跡を完全に保存し、適切に活用することを要望します。

日本医師会長 横倉義武

長崎県医師会長 蒔本



長崎大学医学部長 永安



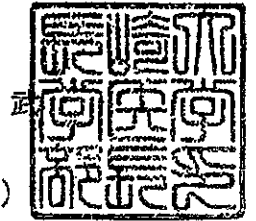
平成29年12月8日

日本医師会長
横倉義武殿

長崎県医師会長
蒔本



長崎大学医学部長
永安



長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存について（依頼）

拝啓

寒冷の候、貴殿におかれましては日本国民の健康と幸せのために日々ご精励のことと存じ上げます。

さて、近代医学発祥の地、長崎市小島佐古の丘において2015年10月に養生所遺跡が発見され、次いで2017年8月には分析究理所遺跡が発見されました。

長崎市は小学生の減少が進む仁田小学校（200名）と佐古小学校（77名）を統合しました。仁田佐古小学校の子供たちは2016年4月より旧仁田小学校の校舎で学んでいます。旧佐古小学校跡地に新しく仁田佐古小学校を建設するために長崎市文化財課が発掘調査をしたところ、これらの遺跡が発見されました。

長崎市は養生所遺跡の上に体育館施設を、分析究理所遺跡の上に小学校校舎を建設することにしています。多くの市民の遺跡を全て残すようにとの声は分析究理所遺跡発見後に急速に高まりました。

長崎市への小島養生所等遺跡の完全保存について住民の意思を確認する住民投票条例請求の署名が行われ、2017年11月17日に提出されました。市内有権者の五十分の一7,242人が必要ですが、短期間にもかかわらず、15,776筆の署名が集まりました。その多くが医療人であります。

養生所・医学所・分析究理所・長崎医学校等遺跡の完全保存は、長崎市や長崎県にとどまらず、日本全国の医療人が切に希望することを世に示すため、別紙要望書の長崎県医師会長、長崎大学医学部長との連署につきまして、なにとぞよろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

敬具

永安武長崎大学医学部長は、本日から12日（火）まで東京出張のため不在です。医学部長のコメントは次のとおりです。

「小島の地に出土した養生所等遺跡は、長い時を刻んだ歴史的な遺跡であるというだけでなく、幕末から明治維新にかけての医学伝習を通じた日蘭交流の象徴であり、そこには日本における近代西洋医学発祥の源流があります。

日本最古の医学部である長崎大学医学部は、当初より養生所等遺跡の文化的、歴史的価値を高く評価しており、住民投票条例制定の議論がなされている中で、本年11月に医学部創立160周年を迎えたこともあり、養生所等遺跡の完全保存をあらためて要望することが使命であるという純粋な考えのもと、12月6日の臨時医学科教授会において本要望書の内容及び提出することについて審議し可決しました。

なお、河野学長には今回、医学部として完全保存を要望することの意義をご説明申し上げたうえで、容認いただいたものと理解しております。」

2017年12月吉日

長崎市長 田上富久殿
長崎市議会議員 野口達也殿

養生所等遺跡の完全保存についての要望書

(要望事項)

- 1) 近代西洋医学発祥の地である養生所・医学所・分析究理所・長崎医学校等遺跡（養生所等遺跡）の完全保存。
- 2) 現在施工されようとしている旧佐古小学校跡地における仁田佐古小学校建設並びに外周道路拡幅工事を中止し、長崎医学校時代の石垣の完全保存並びに解体された石垣の原状回復。
- 3) 養生所等遺跡の価値評価に適切な日本国内やオランダの各分野の専門家からなる調査委員会の指導による十分な調査。
- 4) 養生所等遺跡の調査終了後、医療関係者の意見も聴取し、同遺跡の保存と適切な活用。

長崎養生所はオランダ人医師ポンペによる医学伝習のために文久元年〔1861〕に設立され、ここで数多くの医師たちが西洋医学を学んだ、我が国における近代医学発祥の地であります。順天堂は現代に連なる日本最古の西洋医学塾であり、学祖・佐藤泰然の次男・松本良順はポンペのもとで医学所頭取を務め、第2代堂主・佐藤尚中もポンペのもとで学ぶなど、長崎養生所は順天堂にとっても所縁の深い場所であります。

旧佐古小学校跡地には、2015年以降の発掘で、小島養生所と医学所、およびその後身の分析究理所と長崎医学校の石垣などの遺構が発見され、さらに本年9月には分析究理所の遺構も発見されております。その一方で養生所等遺跡の上に小学校の新体育館施設が建設される計画が進んでいることも伺っております。しかしながら旧佐古小学校跡地に眠る養生所・医学所などの遺構は、我が国の医学・医療の歴史における最重要の遺産であり、これを学校施設建設によって破壊することなく完全に保存し、日本の医学・医療の歴史を伝承する施設・モニュメントとして公開し後世に残していくことは、現代の医学・医療に携わる者にとって、さらに医学・医療の恩恵を受ける現代社会に生きる者にとっても、重要な責務で

あると考えております。

順天堂大学では「医学教育歴史館」を設置して我が国の医学教育の歴史を俯瞰し関連する資料を展示しており、2014年4月の開館に際しては天皇皇后両陛下のご親臨を賜っております。長崎の養生所遺跡は、まさに日本の近代医学発祥の地であり、医学・医療の歴史を展示する施設としてこれ以上に相応しい場所は到底考えられません。幸いにも、養生所・医学所での医学・医療についての歴史資料には貴重なものが多数残されており、たとえばポンペによる講義録は長崎大学・順天堂大学を始め各地に所蔵されて現在も解読・分析が進められており、養生所・医学所の建物の当時の写真、ポンペが松本良順に贈った頭蓋骨や医学書などがあります。ポンペの門下からは松本良順の他にも、佐藤尚中（順天堂第2代堂主）、長與専齋（内務省衛生局長）、緒方惟準（陸軍軍医学校設立者）、池田謙齋（東京大学医学部長）、橋本綱常（日本赤十字社初代院長）など明治期に西洋医学の導入に貢献した数多くの医師たちが輩出しており、我が国の医学への歴史的な貢献は、大阪の適塾（現：大阪大学適塾記念センター）をも凌ぐものでありましょう。順天堂大学には我が国唯一の医史学研究室と医学教育歴史館があります。長崎の養生所・医学所遺跡の地に医学・医療の歴史を展示する施設・モニュメントが建設される際には、医史学の知見や展示のノウハウを提供するなど、長崎大学など関係機関とともに全面的に協力することを惜しみません。

本遺跡の調査・保存については、すでに本年2月に九州考古学会、および日本医史学会と洋学史学会から要望書が出され、9月には長崎大学と医学部からの要望書が、長崎市長をはじめ関係各位に提出されております。また11月には遺跡保存に関する住民投票請求のための署名簿が提出されております。順天堂大学および同医学部もこれら関係各位と同様に、旧佐古小学校跡地での学校施設等の建設が中止され、養生所等遺構が完全に保存され、日本の医学・医療の歴史を示す施設・モニュメントとして整備・公開されることを切に要望するものであります。

学校法人 順 天 堂

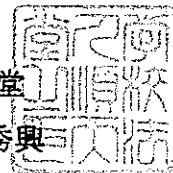
理事長 小川秀興

順天堂大学学長 新井 一

順天堂大学医学部長 代田浩之

日本医史学会前理事長 酒井シヅ

日本医史学会理事長 坂井建雄



2017年12月4日

長崎市旧佐古小学校地の養生所遺跡群の調査と保存に関する要望書

長崎市長
田上富久殿

日本薬史学会
会長 折原 裕

2016年12月17日開催の六史学会（医史、薬史、歯科医史、獣医史、看護歴史の5史学会と洋学史学会）の12月例会において日本医史学会代議員の相川忠臣先生の緊急発言により長崎市旧佐古小学校地の養生所遺跡群が破壊の危機に瀕していることを知るところとなりました。すでに日本医史学会と洋学史学会より要望書が提出されていることとしますので、重ねて詳細な要望を記すことは差し控えますが、日本薬史学会としても標題遺跡の歴史的重要性は論を待たないところであり、注目しているところです。

長崎市におかれましては標題遺跡の重要性を再認識いただき、養生所・医学所・分析究理所等遺跡の完全保存と小学校建設に際して旧佐古小学校跡地ではなく別の場所での建設をご検討いただくことを要望いたします。

以上

2017年12月4日

長崎市旧佐古小学校地の養生所遺跡群の調査と保存に関する要望書

長崎市議会議長
野口達也殿

日本薬史学会
会長 折原 裕

2016年12月17日開催の六史学会（医史、薬史、歯科医史、獣医史、看護歴史の5史学会と洋学史学会）の12月例会において日本医史学会代議員の相川忠臣先生の緊急発言により長崎市旧佐古小学校地の養生所遺跡群が破壊の危機に瀕していることを知るところとなりました。すでに日本医史学会と洋学史学会より要望書が提出されていることとしますので、重ねて詳細な要望を記すことは差し控えますが、日本薬史学会としても標題遺跡の歴史的重要性は論を待たないところであり、注目しているところです。

長崎市議会におかれましては標題遺跡の重要性を再認識いただき、養生所・医学所・分析究理所等遺跡の完全保存と小学校建設に際して旧佐古小学校跡地ではなく別の場所での建設をご検討いただくことを要望いたします。

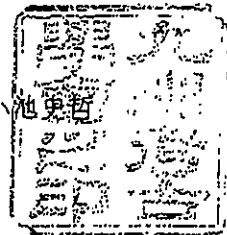
以上

2017年12月1日

長崎県知事 中村法道 殿
 長崎県教育長 池松誠二 殿
 長崎市長 田上富久 殿
 長崎市議会議員 野口達也 殿
 長崎市教育長 馬場豊子 殿



九州考古学会会長 小池泉哲



長崎市分析究理所の保存に関する要望書

九州考古学会は、長崎市立仁田佐古小学校建て替え用地に所在する分析究理所跡の遺構の適切な保存を、改めて強く要望します。

本会はすでに表記に小島養生所等を加えた同様の主旨の要望書を本年2月3日に長崎県知事・同県教育長・長崎市長・同市教育長に提出しています。これに対して、3月8日に長崎市長から遺跡保存への理解と、未調査部分についての予知的判断(「遺構は残存していない可能性が高い」)を示す回答をいただきました。その後長崎市が長崎(小島)養生所を文化財に指定され、保存計画を示されたことに敬意を表すものです。その後未調査部分(養生所に隣接する医学所・分析究理所)の調査が進展し、3月8日の回答で示された予知的判断と異なる新たな結果(分析究理所の遺構が予想をこえてよく残存する)が明らかになりました。この結果をうけて審議された長崎市文化財審議会の結論は、「遺構が残る範囲を史跡に加え指定範囲を拡大する」というものでした。しかし現在、このことに対する長崎市の行政的対応がなされないまま、学校建設にかかわる最終判断が下される状況に及んでいます。本会はこのことに危機感を覚え、九州考古学会総会(2017年11月26日)での合意をふまえて再度要望書を提出するものです。

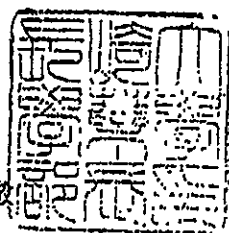
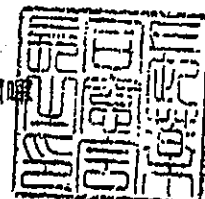
保存を要望する遺構は、分析究理所の以下の部分です。

- ① 西側石垣
- ② 建物礎石等
- ③ 石段および敷地の石垣(北側、南側、石段に連結する部分)

すでに史跡となった養生所に留まらず、一連の遺構が相互に関連してこれだけ残存している遺跡が高い学術価値をもつことは言を俟ちません。ことに③の石段とこれに続く石垣は、当時の医学生たちの生活の息吹をつたえる貴重な資料といえます。遺構は全体が現物で保存されてこそ歴史的意味があり、たとえ3次元計測などの精密計測データを残し、遺構を移築再建したとしても、一度解体された遺構は実物に代わるものではなく、遺跡の本質的価値は著しく損なわれます。長崎市におかれましては長崎市文化財審議会の判断を真摯に受け止め、遺構残存地区を追加指定して、遺跡全体の恒久的な保存を実現されますよう、本会は強く希望するものです。

九州考古学会は、分析究理所の遺構全体を医学・化学史ならびに教育史上の重要史跡と認識し、遺構の本質的価値を損ねることなく小島養生所と一体的に現地保存することを重ねて要望いたします。本遺跡群の保全が9月にオランダ・ライデン市との姉妹都市締結を果たされたばかりの長崎市の国際的な信用にも関わることを含め、一層慎重にご判断されますことを希望いたします。

平成 29 年 10 月 25 日

長崎市長
田上 富久殿長崎大学
薬学部長 黒田直敬長崎大学
薬学部同窓会長 山中國暉

分析窮理所遺構の調査、保存、活用についての要望書

このたび小島養生所跡地の発掘調査において「分析窮理所」が発見されたことを受け、分析窮理所遺構保存に関する要望書を提出させていただきたく存じます。

長崎は古くから海外に開かれた地であり、日本の近代薬学の歴史も長崎出島を通じたオランダとの交流から始まりました。長崎大学薬学部の前身は、1890年（明治23年）に創立された第五高等中学校医学部薬学科であり、その長い歴史の中において、これまで2008年（平成20年）にノーベル化学賞を受賞されました下村 脩博士を筆頭に多くの優秀な人材を輩出してきました。一方で、1865年（慶応元年）に設置され日本の自然科学・薬学の源流であり、理化学の教育や実験を行っていた分析窮理所が長崎大学薬学部の起源の1つであるという意見もあります。分析窮理所の調査が進み、我が国の自然科学・薬学の原点が長崎大学薬学部であることが証明されれば、長崎大学薬学部の歴史的な評価が高まります。またそのことは、長崎市内や全国から自然科学・薬学を志す優秀な学生が長崎大学薬学部に集まることに繋がり、地域医療貢献や科学技術による地域産業活性化を通じて、長崎市の発展にも貢献していくことも期待されます。また、長崎大学薬学部の教職員や学部学生・大学院生ならびに開学以来8,000名を数える長薬同窓生の励みにもなると考えられます。そうした際に、分析窮理所遺構の現地における見える形での保存、全面的な調査が必要不可欠です。

分析窮理所で教師を務めたハラタマ、ゲールツは、我が国の近代科学・薬学の発展において極めて重要な役割を果たしました。まず、オランダ陸軍軍医であったボードウィンのもと1865年（慶応元年）養生所は精得館と改称し、10月に物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所が設置されました。1866年（慶応2年）5月、オランダ人ハラタマが来日し、分析窮理所の教師として、化学・物理学・薬物学・鉱物学・植物学などの自然科学を講義し、また、実験を中心にした理化学を教授しました。この後、ハラタマは、18

69年(明治2年)5月に開校した大坂舎密局に招聘されました。大坂舎密局は第三高等学校となり、後の京都大学の源流となりました。ハラタマは日本近代化学の父とも称されています。1869年(明治2年)に薬学、理化学、植物学を専門とするオランダ人ゲールツが日本政府の招聘で来日し、分析窮理所で物理、化学、幾何学を教授しました。ゲールツは、1873年(明治6年)に長崎税関の委嘱により輸入キニーネの分析を行い、その鑑定報告に添えて粗悪な輸入薬品の取締りと薬品試験所の必要性を建議しました。長崎医学校で校長を務めたことのある長與専齋衛生局長はこの進言をとりあげ、薬品検査機関として司薬場が設置されました。1875年(明治8年)、長與専齋は、日本薬局方の必要性から、京都司薬場監督のゲールツに日本薬局方草案作成の内命を与え、局方制定のための準備を進め、草案をまとめていきました。1883年(明治16年)8月30日、薬局方の成立をみることなくこの草案作成中にゲールツは急性の病により横浜の地で40年の生涯を閉じました。日本薬局方草案作成事業は、長崎司薬場にも務めたことのあるオランダ人エイクマンが引き継ぎ、1886年(明治19年)6月25日、日本薬局方の初版が交付されました。これは、近代的な体裁を持つ局方としては東洋で初めて、世界では21番目にあたる国定局方でした。また、ゲールツは1877年(明治10年)から1879年(明治12年)にかけて日本全土でコレラが大流行した際、長與衛生局長を助け防疫対策を実行し、伝染病予防規則の制定を促すなど今日の衛生行政の基礎を確立しました。国立医薬品食品衛生研究所は、東京司薬場を源流とした日本国内で最も古い国立試験研究機関であり、所内にはゲールツの薬事行政、保健衛生の発展に対する功績をたたえ、顕彰碑が建てられています。このように、日本の近代教育、司薬場の建議と設置、日本薬局方の制定、衛生行政の確立には、分析窮理所やそこで教鞭をとったオランダ人教師が大きな役割を果たしました。以上の理由において、我が国の近代の自然科学・薬学発展における分析窮理所の文化財としての価値は計り知れないものがあります。したがって、分析窮理所遺構の現地における見える形での保存・全面的な調査を強く要望致します。

長崎市は、江戸・明治時代を通じて、我が国における近代の自然科学・薬学の発展に重要な役割を果たした歴史的な価値を有している都市ですが、原爆投下による被害の影響もあるためか、残念ながら遺構と言えものが少ないのが現状です。このような文化的価値が高い分析窮理所を保存し、医学所を含む小島養生所遺構と併せて、分析窮理所に関わったハラタマ、ゲールツ、医学所を含む小島養生所に関わったボンベ、ボードウィン、松本良順、長與専齋など日蘭の功績者に関する当時の写真や遺構の資料を展示する資料館を現地に建設するなど活用し、長崎が近代の自然科学・薬学や医学の発展に果たした役割やそれに対するオランダの貢献と感謝の意を国内外に発信して欲しいと願っています。それにより、オランダとの交流の絆や長崎市民の誇りが増えることに繋がるものと思います。とりわけ、長崎の将来を担う子供たちへの地元への愛着、自然科学・薬学や医学に対する想いに与える影響は大きいものと思われ、長崎から第2、第3の下村博士を誕生させる契機になって欲しいと願っております。以上、分析窮理所遺構の活用を強く要望致します。

平成29年1月11日

長崎市長
田上 富久 様

公明党 長崎県本部

代表 麻生



「養生所遺構」の調査、保存、活用に関する要望

2015年10月、長崎市佐古小学校の建て替えに伴う長崎市文化財課の発掘調査によって、敷地内に小島養生所の痕跡を示す物品が発見されました。また、その後の調査でも養生所北棟の一部が発見され、さらに佐古小学校の敷地周囲を巡らす石垣には、養生所開設当時に積まれた石垣が部分的に残っていることが明らかになりました。

わが党においても、この事実をいち早く注目し、党内においてその価値を共有するとともに、これまで長崎市ならびに長崎大学とも連携し、昨年の市議会11月定例会においては、山本信幸議員が質問を行うなど、保存に向けた取り組みを行っているところです。

とくに、昨年12月16日、長崎大学・下川功医学部長から、公明党長崎県本部顧問 秋野公造参議院議員を介し、文化庁へ要望を行ったところ、同庁の中岡次長より「国の登録文化財として、一部露出展示などを行うことは有意義だ」との見解も示されました。

つきましては、これらの経緯を踏まえ、長崎市佐古小学校敷地内の養生所遺構の保存について、下記の通り、具体的な要望をいたします。



要望事項

- (1) 既に発掘調査がほぼ終了した養生所跡地については、適切な保存方策を講じるとともに、世界的歴史遺産として一部露出展示を行い、将来にわたって活用すること
- (2) 調査が未だ不十分と考えられる医学所および分析病理所等跡地については、追加調査を行い、石垣の価値を十分に検討するとともに、新たな遺構が発見されればあわせて適切な改善保存方策を講じること
- (3) 重要な歴史遺産としての公的な認知を得るため、国の文化財登録もしくは市の史跡指定など、将来の遺構保存・活用に向け最適切な手続きを行うこと
- (4) 今後の「養生所遺構」の保存、活用方策の検討を、長崎市と長崎大学協働事業として実施すること

以上